

財布の中身はいくらかな？ 視点5

1. 単元名 3けたの数（2年生 6月）

2. 改善の動機・意図

数の相対的な大きさを学習するにあたり、具体物を用いた活動を通して理解できるようにしたいと考えた。100より大きい数を、10を単位として捉えるためにおもちゃの貨幣を用いた。実際に10円玉を数えることで全員が相対的な大きさを捉えられるようにした。

100円玉1枚と10円玉4枚が入った財布(①)・1円玉が140枚入った財布(②)・10円玉のみが14枚入った財布(③)を用意した。3つの財布の中身を比べる活動を通して、金額を知りたいという意欲を高める展開を考えた。

3. 授業の構想

T1 今日先生と先生のお友達のお財布をもってきました。

このお財布を①、このお財布を②、このお財布を③としますね。

どのお財布に1番お金が入っていると思いますか？

C1 たくさん入っている③だと思う。

C2 絶対③のお財布だよ。

<どれが一番高いかな？>

C3 ①のお財布は100円1枚と10円4枚だから、140円だ。

C4 ②のお財布はこの前勉強したみたいに10のまとまりで調べたい。

T2 では、みんなで協力して1円玉が何枚あるのか調べましょう。

.....

T3 ②のお財布には140円入っていると分かったね。

C5 ①と②のお金は同じだったんだ。

T4 ③のお財布はどうでしょう？

C6 ③のお財布は10円玉だけ？

C7 いくつあるの？

T5 ③のお財布と同じだけ入ったものを準備したので、自分で調べましょう。

10円玉が14枚入った袋を1人1つずつ配る。

C8 10円玉が14枚ありました！

C9 10が10こで100だから、100円と残りの40で140円だと分かりました。

C10 お財布の中身は全部同じ値段だったんだ！

C11 100が1つと10が4つで140ともいえるし、10が14個で140ともいえるんだね。

T6 実は、先生もう一つお財布をもってきました。

<このお財布には230円入っています。何円玉が何枚入っていると思いますか？>

C12 10円玉が23枚入っていると思います。

C13 100円玉が2枚と10円玉が3枚入っていると思います。

C14 10円玉が20枚と1円玉が30枚入っていると思います。

